

編 集 後 記

お墓参りに行った先の公園で、子どもたち三人と「だるまさんがころんだ」をして遊んだ。私はこの遊びを、子どもたちと遊んだ。「はじめのいっほ」のことだと思っていた。

だから、私は、鬼が何人かの子に触れて駆け抜けるときのスリルがこの遊びの楽しみの一つで、鬼がその鍵を握っていると思っていた。そこで、年長の私が始めに鬼になった。そして、勢いをつけて、大股十歩で三人に触れながら走り抜けた。するとそうではないという。びっくりして子どもたちの話を聞いた。この遊びでは、鬼に近い人から順に鬼に指示ができる。「大股十歩」

「小股十歩」「靴投げ三回」のように。そして、その指示で誰か一人に鬼が触れるまでそれは続くのだという。だから、触れられたくない人は「小股」を、遠くにいても触れられたい人は「大股」や「靴投げ」を選べばよい。靴投げとは投げた靴がその人に触れればよいのだそう。

この鬼と子の一対一のやりとりは鬼ごっここの楽しみの一つだ。鬼ごっこでは触れられるかどうかの鍵は鬼だけではなく、鬼に近寄っていく子も握っている。「だるま……」では、子は動けないが指示を選ぶという形でそれを取り入れているのだ。少ない人数で、狭い場所、遊ぶことを余儀なくされている、いまの子どもたちにも、鬼ごっこの楽しさが遊び継がれていることに気づいて、私はうれしく思った。(A)

幼 児 の 教 育

第九十六巻 第二号

(一九九七年二月号)

定価四五〇円(本体四三七円)

発行 平成九年二月一日

編集兼発行人 田代和美

発行所 日本幼稚園協会

〒112東京都文京区大塚二一〇一

お茶の水女子大学附属幼稚園内

印刷所 図書印刷株式会社

〒108東京都港区三田五一一二一

発売所 フレーベル館

〒113東京都文京区本駒込

六一一四一九

☎〇三一一五三九五一六六一三(営業)

☎〇三一一五三九五一六六〇四(編集)

振替 〇〇一九〇一二一九六四〇

☆ 本誌ご購入のご注文は発売所フレーベル館にお願いします。

☆ 万一、乱丁・落丁などがございましたら、おとりかえいたします。